工　事　仕　様　書

年　度	令和　8　年度		
番　号	配給施　第　　号		
道路名	**市道神島9号線外1線**		
履行場所	**鳥羽市神島町地内**		
工事名	**市道神島9号線外1線配水管改良工事**		
設計金額	一金　　円也		
工　期	**令和 9 年 3 月 17 日限り**		

工　事　の　概　要

施工延長	L=141.6m
配水管改良工	N=1.0式
HPE管布設工φ75	L=140.5m
S仕切弁設置工φ75	N=2.0基
給水引込管工	N=5.0箇所
排泥管設置工	N=2.0箇所
舗装工	N=1.0式
Co復旧工	A=100.0㎡

起　工　理　由

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上水道工事（１）		式		1		
配水管改良工事		式		1		
配水管工		式		1		
配水管材料	管材費対象	式		1		
HPE管布設工	φ75	m		140.5		
HPE継手工	φ75	箇所		26		
HPE継手工	φ75	口		5		
ポリエチレン管切断工	φ75	口		14		

鳥羽市

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
既設DIP管切断工	φ75	口		4		
メカニカル継手工	φ75	口		3		
フランジ継手工	φ75	口		1		
エアーバック式止水工	φ75	箇所		1		
仕切弁設置工	φ75	基		2		
仕切弁室設置工	D20型　DP=0.3m	箇所		2		
消火栓設置工	φ75	基		1		
消火栓室設置工	DP=0.6m	箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ロケーティングワイヤ設置工		m		140.5		
サドル分水栓建込工	ポリエチレン管用　φ75*25	箇所		3		
硬質塩ビ管布設工	φ25	m		2.6		
硬質塩ビ管切断工	φ25	口		3		
既設硬質塩ビ管切断工	φ25	口		6		
HI継手工	φ25	口		12		
小口径捻じ込み接合工	φ25	口		6		
仕切弁室設置工	D20型　DP=0.3m	箇所		3		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
埋設標識シート設置工		m		143.1		
ロケーティングワイヤ設置工		m		2.6		
排泥管工		式		1		
排泥管材料	管材費対象	式		1		
HPE管布設工	φ50	m		6.8		
HPE継手工	φ50	口		2		
HPE継手工	φ50	箇所		3		
ポリエチレン管切断工	φ50	口		1		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
フランジ継手工	φ50	口		4		
仕切弁設置工	φ50	基		2		
仕切弁室設置工	D20型　DP=0.3m	箇所		2		
硬質塩ビ管布設工	φ50	m		3.4		
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ50	口		6		
メカニカル継手工	φ50	口		3		
メカニカル継手工	φ75	口		1		
硬質塩ビ管切断工	φ50	口		5		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ロケーティングワイヤ設置工	ポリエチレン管	m		6.8		
ロケーティングワイヤ設置工	硬質塩ビ管	m		3.4		
仮設管工		式		1		
仮設管材料	管材費対象	式		1		
サドル分水栓建込工	ポリエチレン管用　φ75*50	箇所		1		
HPE管布設工	φ50	m		1		
小口径捻じ込み接合工	φ50	口		1		
メカニカル継手工	φ50	口		2		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
給水引込管工		式		1		
給水引込管材料	管材費対象	式		1		
サドル分水栓建込工	ポリエチレン管用　φ75*25	箇所		2		
硬質塩ビ管布設工	φ25	m		1.8		
硬質塩ビ管切断工	φ25	口		2		
既設硬質塩ビ管切断工	φ25	口		4		
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ25	口		4		
サドル分水栓建込工	ポリエチレン管用　φ75*20	箇所		1		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
硬質塩ビ管布設工	φ20	m		1.2		
硬質塩ビ管切断工	φ20	口		1		
既設硬質塩ビ管切断工	φ20	口		2		
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ20	口		4		
ロケーティングワイヤ設置工		m		3		
管路土工		式		1		
Co舗装版切断工	Co舗装版15cm以下	m		320		
Co舗装版取壊し工	10cm以下	m2		100		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
人力掘削工		m3		40		
管路埋戻工	クッション砂	m3		30		
管路埋戻工	RC-40	m3		30		
アスファルト塊・コンクリート運搬費	Co塊　島内～神島港	m3		10		
アスファルト塊・コンクリート運搬費	Co塊　鳥羽港～処分場	m3		10		
廃棄物受入料金	As塊	m3		10		
側溝清掃車運搬		m3		2		
廃棄物受入料金	汚泥	t		2		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
発生土運搬費		m3		30		
復旧工		式		1		
Co打設	t=10cm	m3		10		
溶接金網設置工		m2		94		
運搬工		式		1		
小型資材等海上運搬		航海		22		
大型土のう製作		袋		98		
直接工事費		式		1		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
共通仮設		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		

工事数量総括表

		工事名	市道神島9号線外1線配水管改良工事	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事費計		式		1		

鳥羽市

数 量 計 算 書

１．配水管工

φ75　資材計算書　(HPPE)

名　　称	形状寸法	単位	算　式 1路線					計	備　考
EF片受直管	φ75×5,000	本	19					19	
EF片受直管	φ75×5,000	本	9					9	切管計算書より 切管用
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	2					2	
EF両受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11°1/4	個	2					2	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×45°	個	4					4	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×22°1/2	個	4					4	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×11°1/4	個	3					3	
EF両受ﾁｰｽﾞ	φ75×φ75	個	1					1	
EF両受ﾁｰｽﾞ	φ75×φ50	個	1					1	
EF両受Sﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×300H	個	2					2	
EF片受Sﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×300H	個	2					2	
ABS工法 ストッパーサドル鋳鉄管用	φ75	個	1					1	
ABS工法 エアーバック	SB-75H φ75	個	1					1	
PE挿し口付ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	φ75	基	2					2	
PE挿口付鋳鉄製Ｔ字管	φ75×φ75	個	1					1	
FCD補修弁(ﾎﾞｰﾙ式)	φ75×150H	基	1					1	
消火栓	φ75	基	1					1	
フランジ結合補強具 LSP型パッキン	SUSボルト・ナット φ75 7.5K	組	1					1	
フランジ接合材	SUSボルト・ナット φ75 7.5K	組	1					1	
フランジ接合材	フランジパッキン φ75 RF	枚	1					1	
仕切弁筐	DP=0.3m	箇所	2					2	
消火栓筐	DP=0.6m	箇所	1					1	
ポリ管帽	φ75	個	1					1	
PCｼﾞｮｲﾝﾄ	φ75	個	1					1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	140.54					140.5	
ロケーティングワイヤー		m	140.54					140.5	

φ75　布設計算書　(HPPE)

名　称	形状寸法	単位	算式 1路線					計	備　考
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	融着接合 φ75	m	140.54					140.5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	2口融着接合 φ75	箇所	26					26	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	1口融着接合 φ75	口	5					5	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ75	口	14					14	切管計算書より
既設DIP管切断工	φ75	口	4					4	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ75	口	3					3	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	口	1					1	
エアーバック式止水工	φ75	箇所	1					1	
仕切弁設置工	DP=0.3m	基	2					2	
仕切弁筐設置工	DP=0.3m	箇所	2					2	
消火栓設置工	DP=0.6m	基	1					1	
消火栓筐設置工	DP=0.6m	箇所	1					1	
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	140.54					140.5	
ロケーティングワイヤー設置工		m	140.54					140.5	

φ25　資材計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			1路線						
サドル分水栓(HPPE用)	φ75×φ25	個	3					3	
HIVP直管	φ25×4,000	m	2.6					2.6	
ゲートバルブ	埋設用 φ25	基	3					3	
HIシモクナット	φ25	個	3					3	
HIバルブソケット	φ25	個	6					6	
HIソケット	φ25	個	3					3	
仕切弁筐設置工	DP=0.3m	箇所	3					3	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	2.60					2.6	
ロケーティングワイヤー		m	2.60					2.6	

φ25　布設計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式 1路線					計	備　考
サドル分水栓建込工	φ75×φ25	箇所	3					3	
塩ビ管布設工	φ25	m	2.6					2.6	
塩ビ管切断工	φ25	口	3					3	
既設塩ビ管切断工	φ25	口	6					6	
塩ビ管接合工	φ25	口	12					12	
小口径ねじ込み接合工	φ25	口	6					6	
仕切弁筐設置工	DP=0.3m	箇所	3					3	
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	2.60					2.6	
ロケーティングワイヤー設置工		m	2.60					2.6	

管材および管布設延長集計表　**HPPEφ75**

単距離	追加距離	EF 受口付 直管	プレーン エンド 直管	切管		EF ソケット	HPPE 継手																								DIP用 不断水 割T字管	鋳鉄製 T字管	ボール式 補修弁	急速 空気弁	消火栓	フランジ 結合補強具	フランジ 接合材	フランジ 接合材	ポリ管帽	PC ジョイント	接合口数				備考
							両受ベンド				片受ベンド				EF両受 チーズ	EF両受 チーズ	EF両受 チーズ	EF両受 レデューサー	EF 両受Sベンド			EF 片受Sベンド			仕切弁		EF片受 フランジ													融着	融着	メカニカル	フランジ	
		HPPE	HPPE	甲	乙		90°	45°	22°1/2	11°1/4	90°	45°	22°1/2	11°1/4	×75	×50	×75	75*50	H300	H450	H600	H300	H450	H600	PE挿口	両フランジ	短管	75×75	×75	150H	φ25	φ75	LSPﾊﾟｯｷﾝ 7.5K	ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ φ75	ﾊﾟｯｷﾝ RF φ75 7.5K	φ75	φ75	継手工	継手工	継手工	継手工	
		5.00	5.00	(m)	(m)		0.44	0.38	0.28	0.26	0.54	0.48	0.38	0.36	0.11	0.11	0.25	0.34	0.80	1.01	1.22	0.90	1.10	1.33	0.78	0.24	0.15	0.12	0.71	基	基	基	組	組	枚	個	個	2口/1箇所	1口			
1路線																																										
0.00	0.00																																									
				1																																	1				
4.27	4.27			4.27																																		0.5		2		
													1																													
0.38	4.65												0.38																										0.5				
				1																																					
0.69	5.34			0.69																																		0.5				
																									1																	
0.78	6.12																								0.78																	
								1																																		
0.38	6.50							0.38																														1.0				
															1		(1)																										
0.36	6.86														0.11		0.25																							2			
					1																																					
3.39	10.25				3.39																																					
										1																																
0.26	10.51									0.26																												1.0				
		3																																							
15.00	25.51	15.00																																				1.5				
																						1																				
0.90	26.41																					0.90																0.5				
																													1	1		1	1	1	1						
0.71	27.12																											0.71												1	
																			1																							
0.80	27.92																		0.80																		1.0				
				1																																					
2.39	30.31			2.39																																	0.5				
		2																																							
10.00	40.31	10.00																																			1.0				
													1																													
0.38	40.69												0.38																									0.5				
		2																																							
10.00	50.69	10.00																																			1.0				
												1																													
0.48	51.17											0.48																									0.5				
				1																																					
2.57	53.74			2.57																																	0.5				
		2																																							
10.00	63.74	10.00																																			1.0				
													1																													
0.38	64.12												0.38																									0.5				
				1																																					
3.80	67.92			3.80																																	0.5				
		5																																							
25.00	92.92	25.00																																			2.5				
												1																													
0.48	93.40											0.48																									0.5				
												1																													
0.48	93.88											0.48																									0.5				
					1																																				
1.00	94.88				1.00																																					
								1																																		
0.38	95.26							0.38																													1.0				
												1																													
0.48	95.74											0.48																									0.5				
				1																																					
4.33	100.07			4.33																																	0.5				
		3																																							
15.00	115.07	15.00																																			1.5				
小計		17		6 18.05	2 4.39			2		1		4	3		1		(1)		1			1			1				1	1		1	1	1	1		1	19.5	2	2	1	

管材および管布設延長集計表　HPPE φ75

単距離	追加距離	EF受口付直管 HPPE 5.00	プレーンエンド直管 HPPE 5.00	切管 甲 (m)	切管 乙 (m)	EFソケット	HPPE継手 両受ベンド 90° 0.44	両受ベンド 45° 0.38	両受ベンド 22°1/2 0.28	両受ベンド 11°1/4 0.26	片受ベンド 90° 0.54	片受ベンド 45° 0.48	片受ベンド 22°1/2 0.38	片受ベンド 11°1/4 0.36	EF両受チーズ ×75 0.11	EF両受チーズ ×50 0.11	EF両受チーズ ×75 0.25	EF両受レデューサー 75*50 0.34	EF両受Sベンド H300 0.80	EF両受Sベンド H450 1.01	EF両受Sベンド H600 1.22	EF片受Sベンド H300 0.90	EF片受Sベンド H450 1.10	EF片受Sベンド H600 1.33	仕切弁 PE挿口 0.78	仕切弁 両フランジ 0.24	EF片受フランジ短管 0.15	DIP用不断水割T字管 75×75 0.12	鋳鉄製T字管 ×75 0.71	ボール式補修弁 75×150H 基	急速空気弁 φ25 基	消火栓 φ75 基	フランジ結合補強具 LSPパッキン φ75 7.5K 組	フランジ接合材 ボルト・ナット φ75 組	フランジ接合材 パッキン RF φ75 7.5K 枚	ポリ管帽 φ75 個	PCジョイント φ75 個	接合口数 融着継手工 φ75 2口/1箇所	融着継手工 φ75 1口	メカニカル継手工 φ75	フランジ継手工 φ75	備考
0.36	115.43													1 0.36																								0.5				
2.42	117.85			1 2.42																																		0.5				
0.36	118.21													1 0.36																								0.5				
2.35	120.56			1 2.35																																		0.5				
10.00	130.56	2 10.00																																				1.0				
0.38	130.94												1 0.38																									0.5				
3.89	134.83			1 3.89																																		0.5				
0.36	135.19													1 0.36																								0.5				
1.34	136.53				1 1.34																																					
0.26	136.79									1 0.26																												1.0				
1.72	138.51				1 1.72																																					
0.11	138.62															1 0.11																							2			
0.90	139.52																					1 0.90																0.5				
0.50	140.02				1 0.50																																					
0.80	140.82																		1 0.80																			0.5	1			
0.78	141.60																								1 0.78																	
																																				1				1		
小計		2		3 8.66	3 3.56					1			1	3		1			1			1			1											1		6.5	3	1		
合計	141.60	19		9 26.71	5 7.95			2		2		4	4	3	1	1	1		2			2			2				1	1		1	1	1	1	1	1	26.00	5.00	3.00	1.00	

管材および管布設延長集計表　　HIVPφ25

単距離	追加距離	サドル 分水栓 φ75×25 個	HIVP 切管 φ25 (m)	埋設用 ｹﾞｰﾄﾊﾞﾙﾌﾞ φ25 基	HI ｼﾓｸﾅｯﾄ φ25 個	HI ﾊﾞﾙﾌﾞｿｹｯﾄ φ25 個	HI ｿｹｯﾄ φ25 個	HI ｴﾙﾎﾞ φ25 個	TS 継手工 φ25	鋼管 ねじ込工 φ25	備考
1路線	給水φ25①										
0.00	0.00										
		1			1						
				1		2					
									2	2	
							1				
1.00	1.00		1.00						2		
	給水φ25②										
		1			1						
0.00	0.00										
				1		2					
									2	2	
							1				
1.10	1.10		1.10						2		
	給水φ25③										
		1			1						
0.00	0.00										
				1		2					
									2	2	
							1				
0.50	0.50		0.50						2		
		3		3	3	6	3				
合計	2.60		2.60						12	6	

切管計算書

管　種 HPPEφ75 L=5.0m	番号	甲切管 (m)	乙切管 (m)				計 (m)	残管 (m)	切断 (口)		
	1	4.27					4.27	0.73	1		
	2	0.69	3.39				4.08	0.92	2		
	3	2.39	1.00				3.39	1.61	2		
	4	2.57	1.34				3.91	1.09	2		
	5	3.80					3.80	1.20	1		
	6	4.33					4.33	0.67	1		
	7	2.42	1.72				4.14	0.86	2		
	8	2.35	1.00				3.35	1.65	2		
	9	3.89					3.89	1.11	1		
計		26.71				8.45	35.16	9.84	14		

EF受口付直管φ75	9	本
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管φ75		本
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工φ75	14	口

２．排泥管工

φ50　資材計算書　(HPPE・HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			排泥管①	排泥管②					
EF片受直管	φ50×5,000	本	1					1	切管計算書より 切管用
EFソケット	φ50	個	1					1	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×90°	個		1				1	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×45°	個	1					1	
EF片受ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ50×22°1/2	個	1					1	
ﾚﾃﾞｭｰｻ	φ75×φ50	個	1					1	
FCD仕切弁	ﾌﾗﾝｼﾞ型 φ50	基	1	1				2	
EFﾌﾗﾝｼﾞ水道形	φ50	個	1	1				2	
HIVP直管	φ50	m	1.4	2.0				3.4	L=4.0m 切管用
HIｴﾙﾎﾞ	φ50	個	1	2				3	
メカフランジ	φ50	個	1	1				2	
CVジョイント	φ75×50	個		1				1	
フランジ結合補強具 LSP型パッキン	SUSボルト・ナット φ50 7.5K	組	1	1				2	
フランジ接合材	SUSボルト・ナット φ50 7.5K	組	1	1				2	
フランジ接合材	フランジパッキン φ50 RF	枚	1	1				2	
ロケーティングワイヤー		m	7.42	2.81				10.2	

φ50　労務計算書　(HPPE・HIVP)

名　称	形状寸法	単位	算式					計	備　考
			排泥管①	排泥管②					
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	融着接合 φ50	m	6.02	0.81				6.8	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	1口融着接合 φ75	口	2					2	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	2口融着接合 φ50	箇所	2.0	1.0				3	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ50	口	1					1	切管計算書より
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ50	口	2	2				4	
仕切弁設置工	φ50	基	1	1				2	
仕切弁筐設置工	DP=0.3m	箇所	1	1				2	
塩ビ管布設工	φ50	m	1.40	2.00				3.4	
TS接合工	φ50	口	2	4				6	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ50	口	1	2				3	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ75	口		1				1	
塩ビ管切断工	φ50	口	2	3				5	切管計算書より
ロケーティングワイヤー設置工	ポリエチレン管	m	6.02	0.81				6.8	
ロケーティングワイヤー設置工	硬質塩ビ管	m	1.40	2.00				3.4	

管材および管布設延長集計表　　　HPPE・HIVPφ50

単距離	追加距離	HPPE 継手 片受ベンド 90° 0.37	HPPE 継手 片受ベンド 45° 0.27	HPPE 継手 片受ベンド 22°1/2 0.23	HPPE 継手 EF両受チーズ 75×50 0.28	HPPE 継手 レデューサ 75×50 0.36	切管 甲 (m)	切管 乙 (m)	EFソケット	HPPE 継手 仕切弁両フランジ 0.18	HPPE 継手 EFフランジ水道形 0.16	HITS 継手 HIVP切管 φ50 (m)	HITS 継手 HIVPエルボ φ50 個	HITS 継手 メカフランジ φ50 個	CVジョイント φ75×50 個	フランジ結合補強具 LSPパッキン φ50 7.5K 組	フランジ結合補強具 LSPパッキン φ50 7.5K 組	フランジ接合材 ボルト・ナット φ50 組	接合口数 融着継手工 φ50 2口/1箇所	接合口数 融着継手工 φ50 1口	接合口数 TS継手工 φ50	接合口数 メカニカル継手工 φ50	接合口数 メカニカル継手工 φ75	接合口数 フランジ継手工 φ50	備考
排泥管①																									
0.00	0.00																								
0.36	0.36					1 0.36																			
0.50	0.86						1 0.50												0.5						
0.27	1.13		1 0.27																0.5						
0.23	1.36			1 0.23															0.5						
4.50	5.86							1 4.50	1											2					
0.16	6.02										1 0.16					1			0.5					1	
0.18	6.20									1 0.18				1			1	1				1			
1.00	7.20											1 1.00													
0.40	7.60											1 0.40	1								2				
排泥管②																									
0.00	0.00																								
0.28	0.28				(1) 0.28																				
0.37	0.65	1 0.37																	0.5						
0.16	0.81										1 0.16					1			0.5					1	
0.18	0.99									1 0.18							1	1							
0.50	1.49											1 0.50		1								1			
1.00	2.49											1 1.00	1								2				
0.50	2.99											1 0.50	1		1						2	1	1		
合計	10.59	1	1	1	(1)	1	1 0.50	1 4.50	1	2	2	5 3.40	3	2	1	2	2	2	3.0	2	6	3	1	2	

切管計算書

管　種 HPPEφ50 L=5.0m	番号	甲切管 (m)	乙切管 (m)			計 (m)	残管 (m)	切断 (口)		
	10	0.5	4.5			5.00		1.0		
計					5.00	5.00		1		

EF受口付直管φ50	1	本
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工φ50	1	口

管　種 HIVPφ50 L=4.0m	番号	乙切管 (m)					計 (m)	残管 (m)	切断 (口)		
	11	1.00	0.40	0.50	1.00	0.50	3.40	0.60	5		
計						3.40	3.40	0.60	5		

HIVP直管φ50	1	本
塩ビ管切断工φ50	5	口

３．仮設管工

資材計算書　(PEφ50)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			仮設管1						
サドル分水栓(HPE用)	φ75×φ50	個	1					1	
分止水栓用ソケット	φ50	個	1					1	
水道用ポリエチレン管	二層1種 φ50	m	1					1	
PVジョイント	φ50	個	1					1	

資材計算書　(PEφ50)

名　　称	形状寸法	単位	算　式					計	備　考
			仮設管1						
サドル分水栓建込工	φ75×φ50	箇所	1					1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	φ50	m	1.0					1.0	
小口径ねじ込み接合工	φ50	口	1					1	
メカニカル継手工	φ50	口	2					2	

４．給水管工

φ25　資材計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式 給水					計	備　考
サドル分水栓(HPPE用)	φ75×φ25	個	2					2	
HIVP直管	φ25×4,000	m	1.8					1.8	
HIソケット	φ25	個	4					4	
HIシモクナット	φ25	個	2					2	
ロケーティングワイヤー		m	1.80					1.8	

φ25　布設計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			給水						
サドル分水栓建込工	φ75×φ25	箇所	2					2	
塩ビ管布設工	φ25	m	1.8					1.8	
塩ビ管切断工	φ25	口	2					2	
既設塩ビ管切断工	φ25	口	4					4	
塩ビ管接合工	φ25	口	4					4	
ロケーティングワイヤー設置工		m	1.80					1.8	

管材および管布設延長集計表　　HIVPφ25

	単距離	サドル 分水栓 φ75×25 個	HIVP 切管 φ25 （m）	HI ｴﾙﾎﾞ φ25 個	HI ｿｹｯﾄ φ25 個	HI ｿｹｯﾄ φ25×13 個	HI ｼﾓｸﾅｯﾄ φ25 個	HI ｼﾓｸﾅｯﾄ φ13 個	TS 継手工 φ25	備考
	給水管④	1			2		1			
1路線	0.9		0.9						4	
	給水管⑤	1			2		1			
1路線	0.9		0.9						4	
合計	1.80	2	1.8		4		2		8	

φ20　資材計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　式 給水					計	備　考
サドル分水栓(HPPE用)	φ75×φ20	個	1					1	
HIVP直管	φ20×4,000	m	1.2					1.2	
HIソケット	φ20	個	2					2	
HIシモクナット	φ20	個	1					1	
ロケーティングワイヤー		m	1.20					1.2	

φ20　布設計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			給水						
サドル分水栓建込工	φ75×φ20	箇所	1					1	
塩ビ管布設工	φ20	m	1.2					1.2	
塩ビ管切断工	φ20	口	1					1	
既設塩ビ管切断工	φ20	口	2					2	
塩ビ管接合工	φ20	口	4					4	
ロケーティングワイヤー設置工		m	1.20					1.2	

管材および管布設延長集計表　　HIVP φ20

	単距離	サドル 分水栓 φ75×20 個	HIVP 切管 φ20 （m）	HI ｿｹｯﾄ φ20 個	HI ｼﾓｸﾅｯﾄ φ20 個	TS 継手工 φ20	備考
	給水管⑥	1		2	1		
1路線	1.2		1.2			4	
合計	1.20	1	1.2	2	1	4	

５．管路土工

本設管布設土工集計表

上段は、単位数値。

	単位	土工 1号	土工 2号	土工 3号	土工 4号	土工 給1号						合計	≒
土 工 延 長	箇所 m	138.44	2.67	10.59	1箇所	5.60							
舗装切断工　Co t=15cm以下	m	20.00 276.88	20.00 5.34	20.00 21.18	3.20 3.20	20.00 11.20						317.80	320
舗装版 直接掘削積込工　人力 Co t=15cm以下	m2	6.00 83.06	6.00 1.60	6.00 6.35	0.60 0.60	6.00 3.36						94.97	100
人力掘削工	m3	2.34 32.39	4.14 1.11	2.16 2.29	0.23 0.23	1.98 1.11						37.13	40
人力埋戻工　ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.68 23.26	1.68 0.45	1.53 1.62	0.17 0.17	1.37 0.77						26.27	30
人力埋戻工　RC-40	m3	0.60 8.31	2.40 0.64	0.60 0.64	0.06 0.06	0.60 0.34						9.99	10
復旧工　Co	m3	0.60 8.31	0.60 0.16	0.60 0.64	0.06 0.06	0.60 0.34						9.51	10
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処理　人力 L=　km	m3	0.60 8.31	0.60 0.16	0.60 0.64	0.06 0.06	0.60 0.34						9.51	10
残土処理　人力 L=　km	m3	1.67 23.12	1.47 0.39	1.49 1.58	0.16 0.16	1.31 0.73						25.98	30
溶接金網布設工	m2	※土工総延長　× 0.60 157.3　× 0.60										94.4	94
汚泥給排車運搬工	m3	※Co舗装切断延長　× 0.006375 317.8　× 0.006375										2.0	2
汚泥処理	t	※Co舗装切断延長　× 0.006375　× 1.1 317.8　× 0.006375　× 1.1										2.2	2

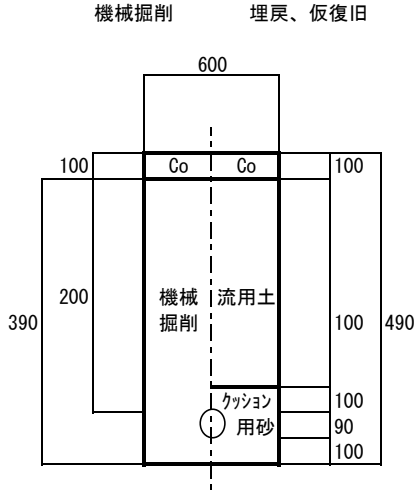
土工延長調書

測　　点	平面延長	管水路工								備　考
		1号	2号	3号	4号	給1号				
	(m)	(m)			(箇所)	(m)				
1路線										
	26.78	26.78								素掘
	1.49		1.49							素掘
	110.88	110.88								素掘
	1.18		1.18							素掘
	0.78	0.78								素掘
エアーバッグ					1					素掘
排泥管										
①	7.60			7.60						素掘
②	2.99			2.99						素掘
給水管										
φ25	4.40					4.40				素掘
φ20	1.20					1.20				素掘
合計	157.30	138.44	2.67	10.59	1	5.60				157.30

1号　　HPE φ75　　市道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.60	
土被り		m	0.30	
管外径		m	0.090	HPE φ75 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	20.00	10.0 * 2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	6.00	0.60 * 10.0
人力掘削工		m3	2.34	0.60 * 0.390 * 10.0
人力埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.68	(0.60 * 0.290 - π/4* 0.090 `2)*10.0
人力埋戻工	流用土	m3	0.60	0.60 * 0.100 * 10.0
復旧工	Co	m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
舗装殻運搬		m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
残土運搬		m3	1.67	2.34 - 0.60 / 0.9

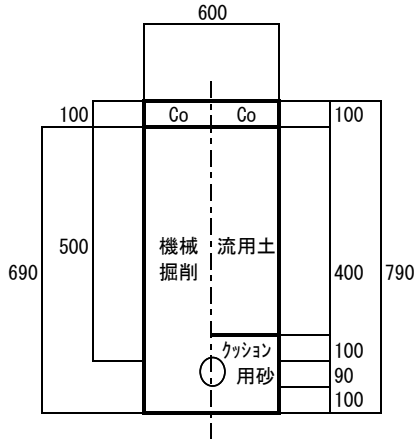
掘削標準断面図



2号　　PE φ75　　市道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.60	
土被り		m	0.60	
管外径		m	0.090	PE φ75 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	20.00	10.0 * 2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	6.00	0.60 * 10.0
人力掘削工		m3	4.14	0.60 * 0.690 * 10.0
人力埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.68	(0.60 * 0.290 - π/4* 0.090 `2)*10.0
人力埋戻工	流用土	m3	2.40	0.60 * 0.400 * 10.0
復旧工	Co	m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
舗装殻運搬		m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
残土運搬		m3	1.47	4.14 - 2.40 / 0.9

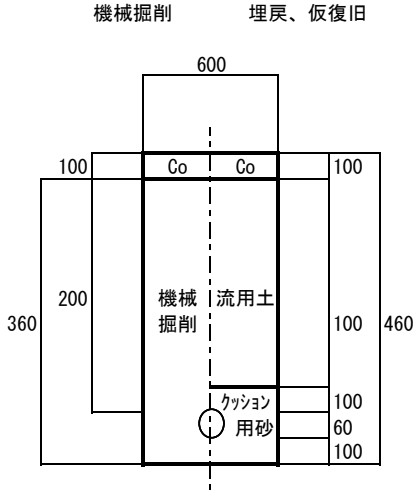
掘削標準断面図



3号　　PE・VP φ50　　市道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.60	
土被り		m	0.30	
管外径		m	0.060	PE・VP φ50 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	20.00	10.0 * 2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	6.00	0.60 * 10.0
人力掘削工		m3	2.16	0.60 * 0.360 * 10.0
人力埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(0.60 * 0.260 - π/4* 0.060 `2)*10.0
人力埋戻工	流用土	m3	0.60	0.60 * 0.100 * 10.0
復旧工	Co	m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
舗装殻運搬		m3	0.60	0.60 * 0.10 * 10.0
残土運搬		m3	1.49	2.16 - 0.60 / 0.9

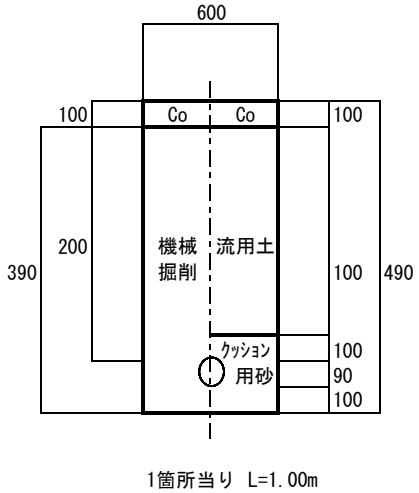
掘削標準断面図



4号　　DIP φ75　　市道　車道　　ストッパー部

工種		単位	1箇所当り	計算式
掘削幅		m	0.60	
土被り		m	0.30	
管外径		m	0.090	DIP φ75 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	3.20	(0.60 + 1.00)*2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	0.60	0.60 * 1.00
人力掘削工		m3	0.23	(0.60 * 0.390 - π/4* 0.090 `2)*1.00
人力埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	0.17	(0.60 * 0.290 - π/4* 0.090 `2)*1.00
人力埋戻工	流用土	m3	0.06	0.60 * 0.100 * 1.00
復旧工	Co	m3	0.06	0.60 * 0.10 * 1.00
舗装殻運搬		m3	0.06	0.60 * 0.10 * 1.00
残土運搬		m3	0.16	0.23 - 0.06 / 0.9

掘削標準断面図

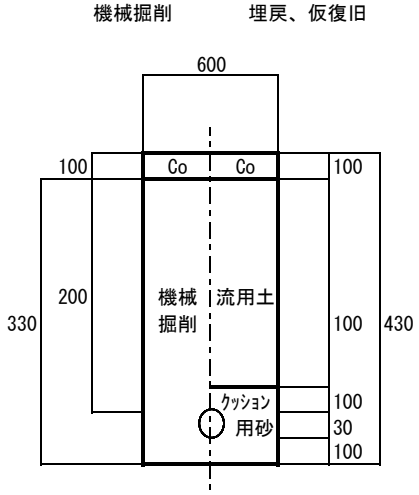


1箇所当り L=1.00m

給1号　　VP φ20　　市道　車道　　給水管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.60	
土被り		m	0.30	
管外径		m	0.030	VP φ20 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	6.00	0.60 ＊ 10.0
人力掘削工		m3	1.98	0.60 ＊ 0.330 ＊ 10.0
人力埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.37	(0.60 ＊ 0.230 － π/4＊ 0.030 `2)＊10.0
人力埋戻工	流用土	m3	0.60	0.60 ＊ 0.100 ＊ 10.0
復旧工	Co	m3	0.60	0.60 ＊ 0.10 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	0.60	0.60 ＊ 0.10 ＊ 10.0
残土運搬		m3	1.31	1.98 － 0.60 ／ 0.9

掘削標準断面図



数 量 計 算 表

種別		運搬工	1.0式	
名称	形状・寸法	計算式	単位	数量
海上運搬				
(往路／搬入)				
クラッシャーラン	RC-40	10.0	m3	10.0
砂	クッション砂	30.0	m3	30.0
コンクリート	18-8-25BB	10.0	m3	10.0
4tアジテータ車	搬入時	10.0/1.5	台	7.0
管材料			式	1.0
その他資材			式	1.0
大型土のう製作	0.8m3当り1袋製作	10÷0.49+30÷0.57	袋	74.0
(復路／搬出)				
コンクリート殻		10.0	m3	10.0
4tアジテータ車	搬入後	10.0/1.5	台	7.0
大型土のう製作	0.8m3当り1袋製作	10÷0.42	袋	24.0

使用材料等 海上運搬算出表

往路

1 対象数量

工種	数量	4t車台数	重量(t)	運搬回数	備考
砂	30.0		52.2		大型土のう積込み
クラッシャーラン	10.0		20.4		大型土のう積込み
コンクリート(無筋)	10	7			4tアジテータ車積込み
管材料一式	1				
その他資材	1				
計		7台	72.6t	回	

2 海上運搬船　小型貨物船(19t積)

3 運搬条件　　鳥羽港～神島港

4 運搬回数

	運搬船		運搬回数
運搬回数	19t級	＝	回

復路

1 対象数量

工種	数量	4t車台数	重量(t)	運搬回数	備考
残　　土	0.0		0		大型土のう積込み
コンクリート殻	10.0		23.5		大型土のう積込み
コンクリート(無筋)	10	7			※コンクリート搬入後
その他資材	1				
計		7台	23.5t	回	

2 海上運搬船　小型貨物船(19t積)

3 運搬条件　　鳥羽港～神島港

4 運搬回数

	運搬船		運搬回数
運搬回数	19t級	＝	回

	往路		復路	
合計	回	＋	回 ＝	

特　記　仕　様　書

１．総則

☑　本工事は、三重県公共工事共通仕様書、日本水道協会水道工事標準仕様書及び工事請負契約書に基づき施工するものであるが、加えて下記の事項を厳守すること。

２．一般事項

☑ 工事着手に当り地域住民に連絡し、工事施工に支障のないようにすること。

☑ 工事着手に先立ち、警察・消防に交通障害、工事届けを提出し、その写しを発注者へ提出すること。

☑ 隣接する構造物に影響を与えないよう充分注意し予防策を講じること。

☑ 安全管理・現場管理に留意し、事故の未然防止に努めること。

☑ 交通の支障にならないよう施工計画及び安全管理に努めること。

３．施工管理（管工事・水道施設）

☑ 埋戻において、管を損傷しないように留意し、偏心偏圧のかからないよう層状に十分締固を行うこと。（一層仕上り厚：200㎜以下）

☑ 配管の配列及び形状寸法に変更が生じる時は、監督員と協議の上、施工するものとする。

☑ 工事材料及び管材料については、JIS規格又はJWWA規格の製品を使用するものとし、監督員の品質を証明する資料を提出すること。

☑ 工事完成後の残管及び残材料の処理については、監督員の指示に従うこと。

☑ 出来形管理資料として、完工図（完工予測図含）を提出すること。

☑ 路面を汚さないよう細心の注意を払うこと。また、汚した場合は散水車にて洗浄処理を受注者の責任において処理すること。

☑ 管種に合わせた接合要領書に従い、チェックシートを作成し施工管理を行うこと。

☑ インジケータの隆起を確認できるよう写真管理を行うこと。

☑ 融着開始・完了、クランプ取外しにおいて時間等が確認できるよう写真管理を行うこと。

☑ 給水装置に係る工事については、給水装置工事主任技術者免状を有する者若しくは同等の資格を有する者が指導、監督を行うこと。

☑ 施工に伴い発生する段差及び隙間については、受注者の責任において適正に加工、処理を行うこと。

☑ 水道配水用ポリエチレン管の接合時には、水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講者を必ず配置すること。

☐ 耐震用ダクタイル鋳鉄管の接合時には、耐震継手技能者を配置すること。

☑ 量水器・給水引込等の切替の際は、対象住居の方と連絡を取り、切替後二次側にてエアー及び濁水が発生していないか確認を行うこと。また連絡等が取れない場合は監督員と協議すること。

４．舗装版切断時に発生する排水汚泥の処理について

☑ 舗装版切断作業時に発生する排水汚泥について、産業廃棄物として処理すること。

☑ 排水汚泥が生じない工法を用いる場合において、監督員と協議承諾した場合でも産業廃棄物として処理すること。

☑ 排水汚泥の運搬は、受注者が自ら行うものとする。ただし、下請け契約して運搬する場合は、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と契約を締結すること。

☑ 排水汚泥を中間処理業者へ持ち込む前に土壌汚染対策法に基づく10項目の試験を発注者が行う為、排水汚泥を試験容器へ採取し、溶出量基準又は含有量基準以下であること確認し、中間処理業者へ持ち込むこと。なお、その試験結果は監督員から受注者へ報告する。

☑ 処分完了後は速やかに監督員へ処分量を報告すること。また、処分量に大きな変動があった場合は、監督員と協議すること。

☑ 10項目の試験結果が基準を超えた場合、または、中間処理業者が処理不可と判断した場合、監督員から受注者へ協議すること。

土壌汚染対策法に基づく試験項目

物質名	溶出量基準(mg/L)	含有量基準(mg/kg)
カドミウム	0.01	150
鉛	0.01	150
六価クロム	0.05	250
ひ素	0.01	150
水銀	0.0005	15
アルキル水銀	N.D.(不検出)	
セレン	0.01	150
ふっ素	0.8	4000
ほう素	1	4000
全シアン	N.D.(不検出)	(遊離CN)50

5．建設発生土の処理について

□ 建設発生土を指定残土処理場へ持ち込む前に土壌汚染対策法および平成9年環告第10号に準じ、27項目の試験を発注者において行う為、掘削土を試験容器に採取を行い、溶出量基準又は含有量基準以下であること確認し、指定残土処理場等へ持ち込むこと。なお、その試験結果は監督員より受注者へ通知を行う。

□ 処分完了後は速やかに監督員へ処分量を報告すること。また、処分量に大きな変動があった場合は、監督員と協議すること。

□ 27項目の試験結果が基準を超えた場合、監督員が速やかに受注者と協議を行う。

土壌汚染対策法に基づく試験項目

物質名	溶出量基準(mg/L)	含有量基準(mg/kg)
ジクロロメタン	0.02	-
四塩化炭素	0.002	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	-
1,1-ジクロロエチレン	0.02	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	-
1,3-ジクロロプロペン	0.002	-
1,1,1-トリクロロエタン	1	-
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	-
トリクロロエチレン	0.03	-
テトラクロロエチレン	0.01	-
ベンゼン	0.01	-
クロロエチレン	0.002	-
カドミウム	0.01	150
鉛	0.01	150
ほう素	1	4000
シアン化合物	検出されない事	50 (遊離シアン)
六価クロム	0.05	250
水銀	0.0005	15
アルキル水銀	検出されない事	-
セレン	0.01	150
砒素	0.01	150
ふっ素	0.8	4000
シマジン	0.003	-
チオベンカルブ	0.02	-
チウラム	0.006	-
ポリ塩化ビフェニル	検出されない事	-
有機リン	検出されない事	-

6．付則

☑ ＊その他必要な事項は、その都度協議し決定するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	□ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：　　）	□ 調整項目（ □ 資材等の流用　□ 仮設及び工事用道路等の調整　□ 建設機械等の調整 □ 施工順序の調整　□ その他（　　）　□ 別途協議 ）
	☑ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	☑ 制限する工種名（　仮配管　）　施工時期及び施工時間（　本管布設前　） （　エアーバック式止水工、排泥管②　）　施工時期及び施工時間（　本管および給水管布設後　） 施工方法（　　）
	□ 他機関との協議が未完了	□ 協議が必要な機関名（　　）　協議完了見込み時期（　　）
	□ 占用物件との工程調整の必要あり	□ 占用物件名（ □ 電気　□ 電話　□ 水道　□ ガス　□ その他（　　））
	□ 余裕期間設定工事	□ 発注者指定方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。本工事の着手日は令和　年　月　日とする。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 □ 任意着手方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。受注者は、落札決定日の翌日から起算して３日以内に令和　年　月　日（工事着手期限日）までの期間内で工事着手日を決定し発注機関に通知することとし、本工事の着手日はその日とする。ただし、一度通知した着手日を変更することは認めない。また、休日（三重県の休日を定める条例第１条に規定する休日）を着手日に設定すること、及び設定した着手日により工期末が休日となる設定は認めない。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 余裕期間設定工事については以下によるものとする。 ・ 建設業退職金共済制度掛金収納書の提出については、三重県公共工事共通仕様書によらず工事着手日までに提出するものとする。 ・ 本工事は、余裕期間を設定した工事であり、主任（監理）技術者の配置は工事着手日とする。受注者は、契約時に現場代理人等選任通知書に記載した技術者を工事着手日に配置しなければならない。工事着手日に配置できず、余裕期間設定工事試行要領第7条第1項により技術者の変更が認められない場合は、工事続行不能届を提出しなければならない。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
用地関係	□ 用地補償物件の未処理箇所あり	□ 未処理箇所（ □ 別添図等　□ No.　～No.　□ 別途協議 ） □ 完了見込み時期（　□ 令和　年　月頃　□ 別途協議 ）
	□ 仮設ヤードの有無	□ 仮設ヤード（ □ 官有地　□ 民有地　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 仮設ヤード使用期間（　　） □ 仮設ヤードからの運搬距離（Ｌ＝　km） □ 使用条件・復旧方法（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
公害対策関係	☑ 施工方法の制限あり	☑ 制限項目　（ ☑ 騒音　☑ 振動　☑ 水質　☑ 粉じん　☑ 排出ガス　□ その他（　　）） □ 施工方法等（ □ 指定工法名（　　）　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 施工時期　（　　）
	□ 事業損失防止に関する調査あり	□ 調査項目　（ □ 騒音測定　□ 振動測定　□ 水質調査　□ 近接家屋の事前・事後調査　□ 地盤沈下測定 □ 地下水位等の測定　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 調査方法　（ □ 別途資料　□ その他（　　）　□ 別途協議 ）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	□ 交通安全施設等の指定あり	□ 交通安全施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 交通誘導警備員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 指定路線　□ 指定路線以外 □ 交通誘導警備員の配置人員数 □ 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員　A：　　人　B：　　人 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 □ 積上げによる算出 □ 配置人員数（　人）＋　交代要員（　人）　（うち交通誘導警備員A（　人）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） □ 交通誘導警備員の配置時間（　　） □ 交通誘導警備員の配置期間（　　） □ 交通誘導警備員配置の対象工種（　　）
	☑ 近接施設等に対する制限	☑ 既存施設あり ・近接公共施設　（ □ 鉄道　☑ 電気　□ 電話　☑ 水道　□ ガス　□ その他（　　）） ・近接施設（ □ 擁壁（　　）□ ブロック塀　□ 家屋　□ その他（　　）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 □ 工法制限あり ・制限を受ける工種　（　　） ・制限内容　（　　）
	□ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□ 安全防護施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 保安要員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ）
	☑ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☑ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☑ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☑ 事故速報の提出	☑ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
工事用道路関係	□ 一般道路（搬入路）の使用制限あり □ 仮設道路の設置条件あり	□ 経路及び使用期間の制限内容　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 使用中及び使用後の措置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 用地及び構造　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 安全施設　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仮設備関係	□ 仮設備の設置条件あり	□ 使用期間及び借地条件　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 転用あり（　　回） □ 兼用あり（　　） □ その他（　　）
	□ 水替工（締切排水工）	□ 施工条件の指定なし □ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数：　　日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 □ その他（　　）
	□ 仮設物の構造及び施工方法の指定	□ 構造及び設計条件　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 施工方法（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
建設発生土・産業廃棄物関係	□ 建設発生土受入地の指定あり	□ 受入地の条件（ □ 別途図面　□ 運搬距離（Ｌ＝　　km） □ 受入料金あり　□ 受入料金なし □ 別途協議　□ その他（　　））
	☑ 建設発生土受入地未定	☑ 受入地未定につき別途協議する。（ ☑ 暫定運搬距離Ｌ＝ 1.5 km、 □ その他（　　））
	☑ 産業廃棄物の処理条件あり	☑ 産業廃棄物の種類　（ □ コン塊　☑ アス塊　□ 木材　□ 汚泥　□ その他（　　）） ☑ 産業廃棄物の処分地　（ ☑ 再生処分場（丸又鉱業(株)）　□ 最終処分場（　　）　□ 別添図書 □ その他（　　）　□ 別途協議 ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（　　）に記入のこと。】 □ 処分場の受入条件　（　　） ☑ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 □ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
工事支障物件関係	□ 工事支障物件あり	□ 支障物件名　（ □ 鉄道　□ 電気　□ 電話　□ 水道　□ ガス　□ 有線　□ その他（　　）） □ 移設時期　（ □ 令和　　年　　月　頃　□ 別途協議） □ 防護　（　　）
	□ その他	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

鳥羽市

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
薬液注入関係	□ 薬液注入工法等の指定あり	□ 設計条件（　　）　工法区分（　　）　材料種類（　　）　施工範囲（　　） □ 削孔数量（　　）　注入量（　　）　その他（　　）
	□ 提出書類あり □ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	□ 工法関係（　　）　材料関係（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
再生材使用関係	☑ 再生材使用の指定あり	☑ 再生材の種類（ ☑ 再生Asコン □ 再生路盤材 ☑ 再生クラッシャーラン □ 道路用盛土材 □ 再生コン砂 ） ☑ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☑ 新材に変更 □ その他（　　） □ 別途協議 ）
	□ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	□ 再生コンクリート砂（１購入先当たり１検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく 認定製品の使用について	□ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名：□ 盛土材 □ 埋戻し材 □ サンドクッション材 □ 上層路盤材 □ コンクリート二次製品 □ グレーチング □ その他（　　）） ☑ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名：　間伐材製工事用バリケード・看板・標示板　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
その他	□ 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□ 保管場所（　　）　期間（　　）　その他（　　）
	□ 現場発生品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　保管場所（　　）　その他（　　）
	□ 支給品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　引渡場所（　　） 時期（令和　年　月　日）　その他（　　）
	□ 盛土材等工事間流用あり	□ 運搬方法（ □ 受注者で運搬 □ 受注者以外で運搬 □ 別途協議 □ その他（　　）） □ 引渡場所（ □ 別添図等 □ 別途協議 □ その他（　　）） 数量（　　）　運搬距離（Ｌ＝　　㎞）
	□ 現場環境改善費適用工事	□ 現場環境改善の内容（率分）（　　） □ 現場環境改善の内容（積上）（　　）
	☑ その他（　不要材の引き取りについて　）	☑ その他　（ 発注者は、現場条件の変更により使用不要となった材料に関して、原則として発生材として引き取らないこととするが、受発注者双方が協議の上、やむを得ないと判断した場合はこの限りではない。 ）
	☑ その他（　部分払いの指定項目について　）	☑ その他　（ 部分払いは、監督員の検査を要する、要しないに関わらず設計図書で部分払いの対象とすることを指定したものに限る。(第37条)なお、部分払いの対象としないものは以下の通りとする。 ） 部分払い非対象項目（ 水道配管材料費のうち現場施工を伴わない材料を出来高とする場合 ）
適用条件	☑ 適用条件	☑ 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和8年7月）） ☑ 「土木構造物設計マニュアル（案）　編」を適用 □ 情報共有（　□　ＡＳＰを適用　□　受注者希望によりＡＳＰを適用 ） 情報共有システムの実施に関する特記仕様書を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照） □ 「建設現場における遠隔臨場の試行に関する特記仕様書」を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照） ☑ 「建設工事請負契約書第26条第5項（単品スライド条項）にかかる特記仕様書」を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） ☑ デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照 ） ☑ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照 ） ☑ （土木）「土日完全週休２日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領を適用　令和8年7月を適用 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □ （農業農村基盤工事）「土日完全週休２日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領を適用　令和8年7月を適用 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

鳥羽市

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
		□（漁港漁場関係工事）「土日完全週休２日制工事（発注者指定型）」に係る試行要領を適用　令和7年7月を適用 （三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照） □「基礎工（既製杭工）特記仕様書」を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照　） □その他（　　）
入札・契約方式	□入札時ＶＥ方式 □契約後ＶＥ方式 □設計・施工一括発注方式 □プロポーザル方式 □総合評価方式	□契約前のＶＥ提案に基づき施工しなければならない。 □契約後にＶＥ提案を受け付ける。 □細部設計の承認を受けなければならない。 □本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。
電子納品	□工事完成図書（工事写真含む） ☑電子納品対象外	□工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、（ □ ２部　□ （　　）部）とする。 □三重県ＣＡＬＳ電子納品運用マニュアル（令和　3年　7月改訂）を適用
地質調査の電子成果品等	□地盤情報データベースの登録の必要あり	□検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） □検定料金の計上（　□ Ａ検定　□ Ｂ検定　） （注：受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。）
産業廃棄物税	□産業廃棄物税	□本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ作成・登録	☑コリンズ（CORINS）の作成・登録	☑三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設発生土情報交換システム	☑建設副産物情報交換システム ☑建設発生土情報交換システム	☑三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☑三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	□下請企業の次数制限	□本工事における下請の次数は、２次（建築一式工事は３次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
市内企業優先使用	☑市内企業の優先使用	☑本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。
県内産製品優先使用	☑建設資材の県内産製品優先使用	☑本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。 ☑本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
県産木材の利用推進	□県産木材の利用を指定する工種あり	□次の工種においては、県産木材を利用する。ただし、県産木材が利用できない場合は、監督員と別途協議すること。 （工種：□ 工事案内看板（標示板）□ 仮設防護柵工　□ 公園施設工（　　）　□ 植栽支柱工　□ 木製ガードレール □ 柵工　□ 筋工　□ 型枠工　□ 視線誘導標　□ 治山ダム工　□ 土留工　□ 伏工（　　） □ 階段工　□ 案内標識　□ その他（　　）） □上記で指定した工種においては、県産木材の使用が証明できる資料（県産材証明書、納品書等）を監督員に提出しなければならない。 □加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分について、設計図書に明示あり。 □加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分を証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
		□ 木製ガードレールについては、平成１０年１１月５日付建設省道環発第２９号「防護柵設置基準の改定について」及び同関連通達「車両用防護柵性能確認試験方法について」に定められた試験方法により、土木研究センターにて検証し防護柵の性能を満たしたものであることを証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。
不当介入を受けた場合の措置	☑ 不当介入を受けた場合の措置	☑ 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第14号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこ
社会保険等未加入対策	☑ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☑ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。